

1. 大学院・履修証明プログラム班 活動内容

- 1) 履修証明プログラム1・2年次のカリキュラム運営
- 2) 大学院コース開設
- 3) 履修証明プログラム・大学院コースの説明・周知
 - ・履修生向けガイダンス
 - ・大学院説明会
 - ・附属病院看護部での説明
 - ・講演会での履修生による成果発表会
 - ・研修会、会議等での説明、病院訪問

2. 教育実績

1) 履修証明プログラム(地域完結型看護実践指導者養成プログラム)

①在籍者

1年次(H28年度入学)	10名(病院看護師6名、訪問看護師3名、看護教員1名)
2年次(H27年度入学)	9名(病院看護師5名、訪問看護師3名、施設看護師1名)

②修了者

9名(H27年度入学者全員)

2) 大学院コース(地域完結型看護リーダー養成コース)

①在籍者

1年次(H28年度入学)	5名 (老年看護2名、在宅看護1名 小児看護1名、母性看護1名) ※開設年度のみ、在学生の履修を可とした
--------------	---

②修了者

1名

カリキュラム内容

	科目	概要	履	院
基礎	在宅看護学特論	在宅ケアの基本と看護、多職種連携	◎	◎
	地域保健医療研究概論	地域保健医療の現状・課題、研究手法	○	◎
応用	在宅ケア学特論	在宅ケア行政施策、他職種の在宅ケア	◎	◎
	在宅ケア学特論Ⅲ	様々な看護領域の在宅ケア関連技術	○	—
	オフキャンパス・セルフラーニング*	在宅ケアに関する学会・研修会の参加	○	—
実践	地域完結型看護 実習指導論	実習指導の基本的な考え方と方法	◎	◎
	地域完結型看護演習	所属施設のある地域における在宅ケアの課題の明確化と解決方策の検討	◎	◎
	地域完結型看護実習	①在宅看護の理解 ②実習指導方法の修得	◎	◎
研究	特別研究	所属の看護分野での、地域完結型医療・ケアの考え方に立脚した看護研究	—	◎

H28年度より開始

履：履修証明プログラム 院：大学院コース

◎：必修 ○：選択必修

《H28 年度より開始した演習と実習》

【地域完結型看護実践指導者演習】

＜目的＞様々な地域・機関で働く履修生が、地域で直面する在宅ケアの課題を明確にし、課題解決の方策の検討を行い、成果発表により共有する。

＜展開＞ 3 日間の集中演習と成果発表会（県内 4 地区にグループ編成をする）



【地域完結型看護実践指導者実習】

① 在宅看護の理解(2日間)

＜目的＞

訪問看護ステーションや病院、施設、地域での見学実習を通して、在宅ケアの課題と看護の実際を学ぶ。

＜ご指導いただいた実習施設＞

富岡地域医療事務組合在宅医療支援センター訪問看護ステーション
原町赤十字訪問看護ステーション、城東訪問看護ステーションたんぽぽ、
館林邑楽郡医師会訪問看護ステーションたてばやし、居宅会議支援事業所ほほえみ、
伊勢崎保健福祉事務所、伊勢崎市地域包括支援センター、
沼田市地域包括支援センター、群馬大学医学部附属病院

②実習指導方法の習得(3 日間以上)

＜目的＞

所属機関での学生実習において、在宅を考慮した実習計画立案、実践、指導の振り返りを行う。